

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



○概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を0.25%引き上げ
- ◆ 景気、物価見通しを上方修正。政策金利見通しについては、2018年、2019年それぞれ引き上げ
- ◆ 来年から毎回のFOMC後の記者会見実施を表明

- ✓ FRBは6/12-13に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、政策金利の誘導水準を0.25%引き上げ、1.75-2.00%とした。
- ✓ 声明文では、景気判断を上方修正。経済活動全般について「緩やか」から「堅調」へ、失業率は「低い状態を維持」から「低下した」へ、家計支出は「緩やか」から「ピックアップした」とそれぞれ上方修正。また「市場ベースのインフレ期待は低いまま」の文言が削除され、「長期的なインフレ期待は全体としてみれば、ほとんど変化していない」とした。
- ✓ FRBの金融政策見通しの中心的な利上げ見通しは1回の利上げを0.25%として、2018年は残り2回、2019年3回、2020年2回。2018年の利上げ回数中央値が年3回から4回に引き上げられたがこれは委員1名の上方修正によるものであり、委員全体の平均値はほぼ変わっていない。FRBは現行程度の緩やかな利上げを継続する見込み。
- ✓ 尚、パウエルFRB議長は来年から毎回のFOMC後の記者会見実施を表明（従来は四半期毎）。
- ✓ FRBは経済情勢を点検しつつ、問題がなければ四半期毎に利上げを実施するスタンス。ただ、金融市場にストレスがかかるようであれば利上げ停止を躊躇せず、バランスのとれた金融政策運営を行う見通し。

【FOMC参加者の見通し（6月時点）】

	FRB見通し（中央値）			
	2018	2019	2020	長期
実質GDP	2.8↑	2.4	2.0	1.8
3月時点	2.7	2.4	2.0	1.8
失業率	3.6↓	3.5↓	3.5↓	4.5
3月時点	3.8	3.6	3.6	4.5
PCEインフレ率	2.1↑	2.1↑	2.1	2.0
3月時点	1.9	2.0	2.1	2.0
FFレート	2.4↑	3.1↑	3.4	2.9
3月時点	2.1	2.9	3.4	2.9

(FFレート見通し内訳-FOMC参加者の人数)

利上げ回数	今後の利上げ回数	2018		2019		2020		Longer run	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
5.000									
4.875	12回					1			
4.750									
4.625	11回								
4.500									
4.375	10回								
4.250									
4.125	9回					1	2		
4.000									
3.875	8回			1					
3.750									
3.625	7回				1	2	3		
3.500	2020年末					1	1	1	1
3.375	6回			3	3	5	4		
3.250	2019年末					1	1	1	1
3.125	5回			2	4	1	1		
3.000								5	5
2.875	4回			5	4				
2.750				1				4	4
2.625	3回	1	1	1	1	2	2	1	1
2.500	2018年末							1	1
2.375	2回	6	7						
2.250								1	1
2.125	1回	6	5	1	1				
2.000									
1.875	1回		2		1		1		
1.750									
1.625	現在	2		1		1			
1.500									
1.375									
1.250									
1.125									
平均値		2.192	2.242	2.917	2.958	3.325	3.308	2.866	2.866
中央値		2.125	2.375	2.875	3.125	3.375	3.375	2.875	2.875

■ 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース ■ 中央値 [出所]FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。